
発刊にあたって

京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 福祉生活デザイン学科研究紀要『福祉生活デザイン研究』創刊号をここにお送りします。ご高覧いただけると幸いです。

本学は、1961年に創立され、文学部英語英文学科と生活文化学科の1学部2学科の時代を経て、1999年には、人間文化学部を設置し、英語英文学科、人間文化学科、生活福祉文化学科、生涯発達心理学科の1学部4学科となり、2005年には心理学部、2007年には生活福祉文化学部が開設され、3学部制となりました。そして、2017年には、心理学部と生活福祉文化学部を改組、現代人間学部 福祉生活デザイン学科、心理学科、子ども教育学科が誕生しました。

本学における、生活系分野に関する教育・研究の歴史は長く、生活文化学科、生活福祉文化学科、そして、福祉生活デザイン学科と受け継がれてきました。

今日、少子高齢化とともに人口減少時代を迎えて、これまでとは違う新たな社会の創造が求められています。このような社会状況を背景に、生活の質の観点から、個人や家族、高齢者や子ども、障がい者など、多様な立場の人にとっての望ましい生活を、衣、食、住、家族の諸点から多角的に追究する生活科学、その生活科学が描く望ましい生活の実現と保障に向けて、社会的困難を抱える人々への支援のあり方やその実践について追究する社会福祉学の両者を内包し、現代社会における人間生活の目標とその実現への方策を総合的、包括的に教育、研究を行う福祉生活デザイン学科の担う役割は大きいと考えられます。

『福祉生活デザイン研究』は、生活科学と社会福祉学を専門分野とする私たちが、それぞれの専門分野の視点を持ちながら、現代の社会において、現代に生きるひとり一人にとってのより良い暮らしのあり方の追求や実現を目標として日々行っている実践的活動や研究の発表の場です。この創刊号には、6本の論文が掲載されています。どうぞ、私たちの実践的活動や研究への理解を深めていただくとともに、同じ目標に向けて活動をしてくださる方々との交流や繋がりになることを期待しています。

最後になりましたが、研究紀要を発刊するにあたり、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

2018. 5. 10

京都ノートルダム女子大学
福祉生活デザイン学科
主任 牛田 好美

